

令和7年度 教科シラバス

教科	国語	科目	論理国語
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	論理国語（数研出版）	副教材	論理国語準拠ワーク（数研出版） 思考の論理スイッチ2（浜島書店） 現代文単語げんたん（いいずな書店）

学習目標

主体的・対話的で深い学びを通して実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高める。

言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけ、読書に親しむ態度を養い、他社や社会に対する関心を養う。

現代社会における多様な問題・題材を提示し興味関心を喚起する。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
文化の認識 （文化相対主義） 「『いき』の美学」「『文化が違う』とは何を意味するのか？」「学問の政治性」	中間	①	環境と人間 （仮説と検証） 「意志と選択」「環境と心の問題」「エコロジーのミューズを求めて」	中間	④
社会の枠組み （「近代」とは何か？） 「『である』ことと『する』こと」「人はなぜ働かなくてはならないのか」	中間 期末	②	思索の深化 （「精神」と「身体」は分離できない） 「顔の所有」「無常ということ」	中間 期末	⑤
情報と知性 （AIと正しく向き合う） 「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」「メディアのテロル」	期末	③	物語と表現 「我が国と諸外国の若手の意識に関する調査・希望を語る」「本歌取り」「評論のテーマの理解を深める」	期末	⑥

学習方法

デザイン・アートコース

副教材を活用して問題演習を行いながら内容の理解を深めていく。学習前後は教科書本文をよく読んで内容の確認をする。類似的文章を扱うこともあるので比較しながら読んでいく。論理的文章を扱うことが多くなるので一文一文丁寧に読み進めていく。

評価方法

デザイン・アートコース

- ・授業中の行動観察・レポート評価・ワークシート（振り返りも含む）・授業プリント評価・定期考査（4回）
- ・メディア視聴報告（オンライン型でメディア視聴を行った場合のみ）

評価の観点

a. 知識・技能

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

b. 思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で、論理的に考える力や深く共感する力、伝え合う力を高め、自身の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。

c. 主体的に取り組む態度

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和7年度 教科シラバス

教科	国語	科目	文学国語（3年生）
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	文学国語（筑摩書房）	副教材	教科書準拠 文学国語標準課題ノート（筑摩書房）

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、他者とのかかわりの中で伝え合う力、言葉による見方・考え方に対する意識を高めるとともに思考力や想像力を伸ばすことで心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで実社会の充実を図る。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
詩歌 「短歌」「死にたまふ母」	中間	①	小説(2) 「水仙」	中間	④
随想・評論(1)「陰翳礼賛」	中間	②	随想・評論(3)「無常ということ」	中間	⑤
小説(1)「舞姫」	期末	③	詩歌 「俳句」	期末	⑥
随想・評論(2)「<うだき>場所の言葉」もしくは「絵画は紙幣に憧れる」	—	④	小説(3) 「藤野先生」	期末	⑥

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
授業に参加し、授業内の様々な活動を通して理解を深める。副教材を活用して問題演習を行いより深く理解する。随想・評論、小説、詩歌といった文章それぞれの特徴と、書かれた時代を意識しながら読み進めていく。	

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<ul style="list-style-type: none"> 授業中の行動観察 ワークシート、小テスト ノート等授業記録 授業の振り返り レポート評価 定期考査（4回） 	

評価の観点

a. 知識・技能
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
b. 思考・判断・表現
「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
c. 主体的に取り組む態度
言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	国語	科目	国語表現
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	国語表現（大修館書店）	副教材	国語表現基礎練習ノート（大修館書店） 小論文頻出テーマ現代を知るplus（第一学習社） 小論文頻出テーマチェック＆ワーク（第一学習社）

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
自己PRと面接 ・効果的な自己PR・面接実演 ・将来の自分を考える ・志望理由、自己推薦書、学修計画書を書く	中間	①	会話・議論・発表 ・相手や場面に応じた会話 ・建設的な議論の進め方 ・プレゼンテーションの工夫	中間	④
小論文・レポート入門 ・複数資料を読み取って書く ・レポートを書く	中間 期末	②	表現を楽しむ① ・様々なポスターを比較する ・魅力的なポスター制作	作品制作	⑤
メディアを駆使する ・通信文をかき分ける ・電話を使いこなす ・メディアと情報	期末	③	表現を楽しむ② ・国語辞典制作 ・「私の虫類図譜」を制作	作品制作	⑥

学習方法

デザイン・アートコース
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に参加し、様々な活動を通して内容の理解を深める。 ・教科書準拠教材を活用して学習のまとめを行う。 ・様々なことを文章で表現するので、自分の意見を根拠に基づいて文章化できるようにする。

評価方法

デザイン・アートコース
・授業中の行動観察・レポート評価・ワークシート（振り返りも含む）・授業プリント評価・定期考査（3回）・作品評価

評価の観点

a. 知識・技能
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
b. 思考・判断・表現
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
c. 主体的に取り組む態度
言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和7年度 教科シラバス

教科	保健体育	科目	体育（3年次）
単位数	デザインアートコース：2単位	レポート	2回
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材	ステップアップ高校スポーツ Active sports

学習目標

<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
豊かなスポーツライフの設計		①②	バスケットボール		
新体力テスト		①	バドミントン		
バレーボール・体づくり運動			卓球		
陸上競技		—	体づくり運動		
ダンス		①	ストレスについてのレポート		
体育と私		①	スポーツなど新聞記事のレポート		②

学習方法

デザイン・アートコース
<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技はそれぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。

評価方法

デザイン・アートコース
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(出席率等も含む) ・実技テスト ・レポート評価

評価の観点

<p>a. 知識・技能</p> <p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。</p>
<p>b. 思考・判断・表現</p> <p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>
<p>c. 主体的に取り組む態度</p> <p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。</p>

令和6年 教科シラバス

教科	美術	科目	美術Ⅲ
単位数	Ⅲ	レポート	6回
教科書	光村図書・美術Ⅱ	副教材	

学習目標

様々な分野の美術を学び、これまで以上に表現や発見、探究力、観察力を身につける。
 また自分が専門をしていない分野を学ぶことで、自己についての理解をより深める。
 共同制作や企画を通し他者の考えや見解を学び、互いの美術作品についての理解を深める。

学習内容

前期(4～9月)			後期(10～3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
鉛筆の可能性・アクション ペイント	—	①	共同制作 (ものからの問いかけ)	—	⑤
アクションペイント作品で コラージュ制作	—	②	本をデザインする (イラストレーション)	—	⑥
オープン粘土でアクセサリー 制作・木彫オブジェ制作 (どちらか選択)	—	③			
ボックスアート (理想の美術館)	—	④			

学習方法

毎回の授業出席を大切に、課題の意図をよく聞き、汲み取る。制作工程、技術面も身につけられるよう復讐と反復をする。
 何を表現したいのか、またどのような工夫をするのか整理しながら制作にのぞみ、計画する。
 安全面を考慮したり、作品を「味わうこと」を意識しながら作品について考察する。
 毎回作品完成後は次の制作に生かせるようしっかりと確認、復讐をする。

評価方法

計画と制作の意図が明確か。
 楽しみながらも美しさや完成度に意識を持ち、こだわって制作しているか。
 制作前の説明や学習内容を理解し、作品及びレポートに反映できているか。
 締切を意識し時間内に提出できたか。

評価の観点

a.知識・技能
レポート及び作品に学習した内容を取り入れている。
b. 思考・判断・表現
作品を味わい、自らの見方を深めている。また、他者の作品や意見を理解しようとしている。
c.主体的に取り組む態度
出席率・授業の取り組み方・作品及びレポート提出の締切を守っていること。

令和6年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ
単位数	4単位	レポート	12回
教科書	MY WAY English CommunicationⅢ (三省堂)	副教材	同教科書ワークブックSTANDARD (三省堂) Active Listening4 (第一学習社) チャンクで英単語 Standard(三省堂)

学習目標

外国語を通して言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、幅広い話題について情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりすることができる。

学習内容

前期 (4～9月)			後期 (10～3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
UNIT1 Strategy for Listening & Reading ①～⑧ テーマ：言語、環境、科学技術、食文化、伝統文化、心理、動物、共生	前期中間	1	Lesson5 The Mysteries of English Spelling	後期中間	7
		2	Lesson6 A New Discovery in the Nasca Lines		8
		3	Lesson7 Today's Trash is Tommorrow's Treasure		9
UNIT2 Lesson1 Priceless Café Lesson2 Nihonium Lesson3 Tea in Desert Climates Lesson4 The benefits of Origami	前期期末	4	UNIT3 Lesson8 Nap Time at School(討論)	後期期末	10
		5	Lesson9 Dog Tax (討論)		11
		6	Lesson10 Space Development (事実と意見)		12

学習方法

デザイン・アートコース
○予習→授業→復習の学習習慣を継続させる ・予習…辞書なしで読み大まかに内容を把握する。新出単語の意味を確認する。 ・授業…英文の聞き方、読み方を身につける。理解を深めるための音読練習。内容に関する意見交換。 ・復習…ワークブック、レポート課題に取り組む。繰り返しの音読練習。 語彙の定着を図るための学習を行う。(個々の目標設定に応じて)

評価方法

デザイン・アートコース
授業への取組（授業態度、発表内容など）、定期考査（4回）、レポート評価、小テスト、課題提出状況など総合的に判断して行う。

評価の観点

a. 知識・技能 音声、語彙・表現の意味、文法など言語の働きについての知識を適切に活用して、ある程度の速さで書いたり話したりすることができる。
b. 思考・判断・表現 話し手や書き手の意図を的確に理解し、聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えを話したり書いたりすることができる。
c. 主体的に取り組む態度 言語やその背景にある文化に対する理解を深め、学んだことを活用して、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。

令和6年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅲ
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	MY WAY Logic and ExpressionⅢ (三省堂)	副教材	同教科書サブノート (三省堂)

学習目標

日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、多様な語句や文を使って、情報や考えを適切な理由や根拠とともに論理的に伝えることができる。

学習内容 [Unit1資料・説明を活用して表現する (発表、ライティング) Unit2日常会話を理解して表現する (やり取り)]

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
U1Lesson1 調査結果の発表 U2Situation1 空港にて	前期中間	1	Lesson6 企画を提案 Situation6 観光案内所	後期中間	4
Lesson2 メールを書こう Situation2 ホームステイ Lesson3 ブログを書こう Situation3 日本からのおみやげ			2		
Lesson4 環境保護活用の説明 Situation4 電話での問い合わせ Lesson5 レビューを書く Situation5 日程調整	前期期末	3		Lesson9 解決策を提案 Situation9 チケットの購入 Lesson10 未来についての意見 Situation10 カフェで社会を語る	後期期末

学習方法

デザイン・アートコース

○予習→授業→復習の学習習慣を継続させる

- ・予習…新出単語の意味を確認する。
- ・授業…各課のテーマに基づいて、コミュニケーションに必要な語彙・表現を身につける。
ペア・グループでの会話 (やり取り)、スピーチ・プレゼンテーション (発表)、エッセイなど (書く) を行う。

評価方法

デザイン・アートコース

授業への取組 (授業態度、発表内容など)、定期考査 (4回)、レポート評価、小テスト、課題提出状況など総合的に判断して行う。

評価の観点

a. 知識・技能

日常的な話題や社会的な話題における情報や考えを、話すまたは書くために必要な語彙や表現を理解し、書いたり話したりして伝えることができる。

b. 思考・判断・表現

情報や考えなどにおける要点、話し手や書き手の意図などを理解し、これらを活用して自分の意見を伝えたり書いたりしている。

c. 主体的に取り組む態度

日常的な話題についての意見や考えを、聞いたり読んだりして習得したことを活用して、相手に理解してもらえるように伝えようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎
単位数	(デザイン) 2単位、(キャリア) 2単位	レポート	8回
教科書	Survive!! 高等学校 家庭基礎 (教育図書)	副教材	食べ物ドリル 新大人」ドリル (教育図書)

学習目標

<ul style="list-style-type: none"> 生活に関する知識や技術、考え方を身につけ実践して、これからの長い人生を自分らしい充実したものにする。 生活の主体者になったときの生活の仕方を考え実践できるようにする。
--

学習内容

前期 (4～9月)			後期 (10～3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
おとなって何だろう?	中間	①	食生活②	中間	⑤
青年期・家族	中間	①	衣生活	中間	⑥
保育	中間	②	住生活	期末	⑦
高齢者・共生社会	期末	③	消費生活	期末	⑧
食生活①	期末	④			

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
教科書を中心に学習プリント、副教材を活用しながら学習を進め、レポートの内容に触れながら試験対策を行う。 授業内容に沿った演習を行う。	教科書を中心に学習プリント、副教材を活用しながら学習を進め、レポートの内容に触れながら試験対策を行う。 授業内容に沿った演習を行う。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 (出席率も含む) 演習課題 レポート評価 定期考査 (4回) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 (出席率も含む) 演習課題 レポート評価 定期考査 (4回)

評価の観点

a. 知識・技能
生活の仕方について学び、生活に関する知識や技術を身につけ、生活に生かしていくことを学ぶ。
b. 思考・判断・表現
生活の主体者として思考し、判断し、導き出した自らの考えを的確に表現する
c. 主体的に取り組む態度
これから自分がどのような生活を営んでいこうとするか、生活の主体者になったときの生活の仕方を考え、関心を高める態度を身につける。

令和7年度 教科シラバス

教科	デッサンⅡ	科目	
単位数	3	レポート	3回
教科書	美術1	副教材	デッサンの基本

学習目標

<p>(1) 材料の特性を理解し対象を観察することでの確に描写する基礎的な技能を身に付ける。 (2) 対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力などを育成する。 (3) 造形表現を追求する中で主体的に学習する態度を養う。</p>

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内 容	考 査	レポート	内 容	考 査	レポート
パース		①	組み静物デッサン		
静物デッサン			組み石膏デッサン		
細密デッサン			構成デッサン		
石膏デッサン 前期まとめ		②	まとめ		③

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
授業に出席し、課題を通して理解を深める。 講評などを通して客観的に学びを深める。 教科書、資料を活用する。	

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品（作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む） ・提出物（レポート、作品提出期限の厳守なども含む） ・授業態度（出席率を含む）	

評価の観点

a. 知識・技能 ・素描に適した表現材料の特性を生かせるよう理解を深めている。 ・対象を深く観察したことを基に表現を的確に表すことができている。
b. 思考・判断・表現 ・深い観察を通して、対象のイメージや空間、形体などを把握することができている。 ・造形的な見方・考え方を働かせている。
c. 主体的に取り組む態度 ・主体的にデッサンや技法の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 ・粘り強く制作に取り組んでいる。

令和7年度 教科シラバス

教科	美術	科目	表現Ⅱ(アート)
単位数	6	レポート	6
教科書	美術2(光村図書)	副教材	

学習目標

- (1) アートに関する各領域表現の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための専門的な技能を身に付ける。
- (2) 制作を通じて造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、自発的に主題を生成したり、個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
- (3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学習内容

- ・これまでに学習した基礎的な技法などを礎に自身の表現を探求し、作品制作に取り組む。
- ・立体作品の制作では、表現1で学習したことを基に様々な表現方法を模索しながら作品制作に取り組む。
- ・卒業制作展に向けて作品を制作する。

学習方法

- ・教科書や資料などを活用する。
- ・授業に参加し、制作活動を通して内容の理解を深める。
- ・作品は期限を守って完成させ、レポートと併せて提出する。

評価方法

- ・出席
 - ・授業態度
 - ・作品
 - ・レポート等の提出物(期限厳守)
- 等で総合的に判断し評価する。

評価の観点

a. 知識・技能

- ・対象の持つ造形的なよさや美しさを捉え、制作するための基礎的な技能を習得している。
- ・学んだ技法や技術を表現に活かしている。
- ・イメージや作品について言葉や文章で説明できる。

b. 思考・判断・表現

- ・イメージを膨らませたり、構想を練ったり、計画的に取り組んでいる。
- ・表現する際に、適した道具や表現技法を選ぶことができる。

c. 主体的に取り組む態度

- ・美術文化や表現技法に関心を持ち、制作や鑑賞に主体的に取り組んでいる。
- ・妥協せず、粘り強く制作に取り組んでいる。

令和6年 教科シラバス

教科	美術	科目	表現Ⅱ（デザイン）
単位数	6	レポート	7回
教科書	光村図書「美術Ⅰ」「美術Ⅱ」	副教材	

学習目標

--

学習内容

前期(4～9月)			後期(10～3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
デザインとは何か	—	①	卒業制作(地域活性)	—	⑤
飛び出すカード制作	—	②	共同制作	—	⑥
平面構成①	—	③	鑑賞	—	⑦
平面構成②	—	④			

学習方法

授業内の指示を良く聞き、積極的にメモを取る事。制作過程や素材について、自分なりに理解し、制作を行いましょう。ラフや案出しなど制作は順を追って行い、必ず担当教諭のチェックや指導を受け作業を進めましょう。自分の考えや企画・制作を文章で説明できるようまとめましょう。

またデッサン力（物をよく見て認識する力）が今まで以上に重要になってきます。多視点で物を見て、分析し、作品に自分の考えを反映出来る様に日常生活でも様々なものに眼を向けてください。

家庭では、資料収集等を行ってください。

評価方法

計画と制作の意図が明確か。

楽しみながらも美しさや完成度に意識を持ち、用具や画材を的確に使用し、こだわりを持って制作しているか。

制作前の説明や学習内容を理解し、作品及びレポートに反映できているか。

締切を意識し時間内に提出できたか。"

評価の観点

a.知識・技能
レポート及び作品に学習した内容を取り入れている。
b. 思考・判断・表現
作品を味わい、自らの見方を深めている。また、他者の作品や意見を理解しようとしている。
c.主体的に取り組む態度
出席率・授業の取り組み方・作品及びレポート提出の締切を守っていること。

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術	科目	映像（3年生）
単位数	2	レポート	6
教科書	光村図書「美術1、2、3」	副教材	

学習目標

映像制作の過程を演習しながら作品構成の手法を身に付ける。映像表現の特性について理解を深め、伝えたい情報を整理して相手に伝える手法を学ぶ。自分の視点やアイデアを基に企画や演出など映像表現の構想を練ることができるようになる。

学習内容

映像の原理や制作過程を学習し、企画、制作計画にも留意して、編集ソフト等を使用した映像作品を制作と作品鑑賞、レポート課題を行う。内容として下記の課題を行う。

- 1、映像編集による表現(映像構成や音声による総合的な表現)
- 2、テーマに基づいた写真・映像表現
- 3、映像作品のプロモーションとトータルデザイン
- 4、映像作品の鑑賞

学習方法

自分が何を伝えたいのかを常に意識して、作品と向き合い、客観性を持ちながら制作に取り組むこと。制作は計画的に行い、締切は厳守すること。また、自分の表現を追求するだけでなく、他者の作品の良さも受け入れながら学習を行うこと。

評価方法

計画や制作の意図が明確か。集中して授業に取り組んでいるか。映像制作を楽しみながら、見やすさや完成度を意識して制作を行っているか。

ワークシート、完成作品、プレゼンテーション、レポートを参考に下記の観点で評価を行う。

評価の観点

a. 知識・技能

映像表現の特性などを理解して、企画・撮影・編集を行っている。また作品を通して、表現したいことが明確である。

b. 思考・判断・表現

映像表現の特性を留意しながら自分の視点やアイデアを基に構想を練り、表現方法や計画を決定して制作を進めている。また映像表現の特性を活かした撮影、編集等の映像表現を行なっている。

c. 主体的に取り組む態度

映像表現に興味関心を持ちながら制作を行っている。課題の意図を理解して、目的を達成のために表現に取り組んでいる。

令和7年度 教科シラバス

教科	美術探究	科目	
単位数	2	レポート	2回
教科書	美術3	副教材	

学習目標

- (1) 芸術としての美術の意義や基礎的な知識と技能について理解を深め、探究的に取り組むことができるようにする。
- (2) 美術に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
- (3) 美術を専門的に学ぼうとする態度を養う。
- (4) 造形的活動を通して、自己の進路について主体的に考え、その実現に向けて取り組むことができるようにする。

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内 容	考 査	レポート	内 容	考 査	レポート
美術と自己について			造形表現		②
進路活動		①			

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・美術について調べ、自己分析と照合する。 ・進路に向けた実践的課題をする。 ・進路を見据えた造形的な制作に取り組む。 	

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
以下の項目を総合的に判断し評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、課題作品（レポートを含む） ・提出物（提出期限の厳守も含む） ・授業態度（出席率も含む） 	

評価の観点

a. 知識・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・美術について基礎的な知識を理解している。 ・自己について分析ができている。 ・進路・進学に必要なことが理解できている
b. 思考・判断・表現
<ul style="list-style-type: none"> ・進路と自己の照合を適切にできている。 ・自ら調べたり構想を練ったり、計画的に取り組んでいる。 ・進路・造形活動する際に、適した道具や表現方法を選ぶことができる。 ・今まで学んだ知識や技術を生かしている。
c. 主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・自身の進路について自分事として捉え、主体的に取り組んでいる。 ・課題に対して意欲的に取り組んでいる。 ・粘り強く調べたり、積極的に制作をしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	総合探究	科目	鑑賞（3年生）
単位数	2	レポート	6
教科書	光村図書「美術1」	副教材	

学習目標

- 1、様々な美術館や施設を見学し、美術作品の鑑賞の仕方や社会的ルールやマナーを身につける。
- 2、鑑賞を通して美術やデザインの社会にもたらす影響や貢献などを学び、各自の進路決定に生かす。
- 3、多種多様な鑑賞を行い、一人ひとりの視野や思考を広げ、それぞれの作品や進路決定に生かす。

学習内容

朝学習等の時間を活用し、事前学習や映像鑑賞を行い、美術館やイベント等の屋外展示など、様々な視点での作品鑑賞を行う。鑑賞後、課題に応じたレポート制作を行う。内容として下記の予定で行う（※、実施の時期や内容などを変更する場合があります。【】内は教科書の該当ページ）

- 1、美術鑑賞について（ギャラリーみつけ）【美術館賞を楽しむ手がかり】
- 2、美術館での鑑賞（新潟近代美術館）【美術館を楽しむ】
- 3、地域と美術の関わり（卒業制作展）
- 4、表現の探究（モデルデッサン等）【鉛筆で描く】
- 5、美術大学の制作活動から進路について考える（長岡造形大学）

学習方法

鑑賞する作品や作者等について、必要な事前学習を行い基本知識を身につける。見学先では学芸員や担当者の方から、お話を伺う。鑑賞後、学習内容をまとめたレポートを作成する。

評価方法

鑑賞する作品や作者等について、事前学習で必要な知識を身につけているか。授業や課題に主体的に取り組んでいるか。鑑賞を通して学習した事を活かして、課題レポートを作成しているか。各課題は期限内に計画的に取り組んでいるか。

評価の観点

a. 知識・技能

社会的なルールやマナーを守り、鑑賞を行なっているかどうか。事前学習や鑑賞を通して学習した作品や作者、表現についての知識や造形的な知識や見方を身につけているか。

b. 思考・判断・表現

事前学習や鑑賞を通して作品や作者、表現等について、造形的な視点から自分なりの見解を持ち、学習が進められているか。学習した内容から必要な情報を判断し、学習成果をレポートとして表現できているかどうか。

c. 主体的に取り組む態度

鑑賞する作品や作者、美術表現に興味関心を持ち、主体的に事前学習や鑑賞、レポート作成に取り組んでいるかどうか。

令和7年度 教科シラバス

教科	国語	科目	論理国語
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	論理国語（数研出版）	副教材	論理国語準拠ワーク（数研出版） 思考の論理スイッチ2（浜島書店） 現代文単語げんたん（いいずな書店）

学習目標

主体的・対話的で深い学びを通して実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高める。

言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけ、読書に親しむ態度を養い、他社や社会に対する関心を養う。

現代社会における多様な問題・題材を提示し興味関心を喚起する。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内 容	考査	レポート	内 容	考査	レポート
文化の認識 （文化相対主義） 「『いき』の美学」「『文化が違う』とは何を意味するのか？」「学問の政治性」	中間	①	環境と人間 （仮説と検証） 「意志と選択」「環境と心の問題」「エコロジーのミューズを求めて」	中間	④
社会の枠組み （「近代」とは何か？） 「『である』ことと『する』こと」「人はなぜ働かなくてはならないのか」	中間 期末	②	思索の深化 （「精神」と「身体」は分離できない） 「顔の所有」「無常ということ」	中間 期末	⑤
情報と知性 （AIと正しく向き合う） 「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」「メディアのテロル」	期末	③	物語と表現 「我が国と諸外国の若手の意識に関する調査・希望を語る」「本歌取り」「評論のテーマの理解を深める」	期末	⑥

学習方法

デザイン・アートコース

副教材を活用して問題演習を行いながら内容の理解を深めていく。学習前後は教科書本文をよく読んで内容の確認をする。類似的文章を扱うこともあるので比較しながら読んでいく。論理的文章を扱うことが多くなるので一文一文丁寧に読み進めていく。

評価方法

デザイン・アートコース

- ・授業中の行動観察・レポート評価・ワークシート（振り返りも含む）・授業プリント評価・定期考査（4回）
- ・メディア視聴報告（オンライン型でメディア視聴を行った場合のみ）

評価の観点

a. 知識・技能

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

b. 思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で、論理的に考える力や深く共感する力、伝え合う力を高め、自身の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。

c. 主体的に取り組む態度

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。